

2013年2月18日

株式会社ワコール

広報・宣伝部

## 「ブラジャーの捨て時・捨て方」実態アンケート結果について

株式会社ワコールは、新学期や新生活をきっかけに整理・整頓の意識が高まる3月、4月を前に、全国の20代～50代の女性1,000名に「ブラジャーの捨て時・捨て方」についてのアンケート調査を行いました。

その結果から、約2人に1人がブラジャーを捨てる際にためらいを感じていることや、お気に入りの「勝負ブラ」よりも使っていない「タンスの肥やしブラ」を持っている人が多いこと、捨てにくいのは「もったいない」「見られるのではと不安」「捨て時がわからない」といった気持ちが働いていることなど、ブラジャーの捨て時や意識などの実態が明らかになりました。

### 【調査概要】

調査期間:2013年1月28日～1月30日 調査方法:インターネット 調査対象:全国の20代～50代の女性1,000名

#### ■私は捨てられない女・・・約6割

6割近くの女性が自分のことを「モノを捨てられない」と自己分析。整理整頓の意識が高まるこれからの季節、思い切っていないモノを捨てられない女性が多いようです。

#### ■ブラジャーを捨てることをためらう女性・・・約2人に1人

ブラジャーを捨てることにためらいを感じた(躊躇した)ことが「よくある」「時々ある」と回答した人を合わせると47.1%に。女性の約2人に1人は、ブラジャーを捨てることにためらいを感じた経験があることがわかりました。

#### ■持っている人が多いのは「勝負ブラ」より「タンスの肥やしブラ」

お気に入りの「勝負ブラ」と使わないで入れっぱなしの「タンスの肥やしブラ」では、持っている人が多いのは「勝負ブラ」より「タンスの肥やしブラ」ということがわかりました。

#### ■ブラジャーが捨てにくい理由のトップ3は「もったいない」「見られるのではと不安」「捨て時がわからない」

ブラジャーが捨てにくい理由は、「もったいないと感じる」(57.3%)、「他人に見られるのではと不安を感じる」(38.9%)のほか、「捨て時がわからない」との理由も30.8%あり、捨て時に悩む女性が約3人に1人いることがわかりました。

#### ■ブラジャーを捨てる理由のトップ3は「ブラジャーの劣化」「体型の変化」「新しいものを購入」

ブラジャーそのものの劣化(90.0%)と、それを着ける体型そのものが変わったこと(33.1%)、そしてタンスに新たなブラジャーが加わったこと(33.1%)が捨てる理由の上位を占めることがわかりました。

#### 〈参考資料①〉「2013 ワコール ブラ・リサイクル」

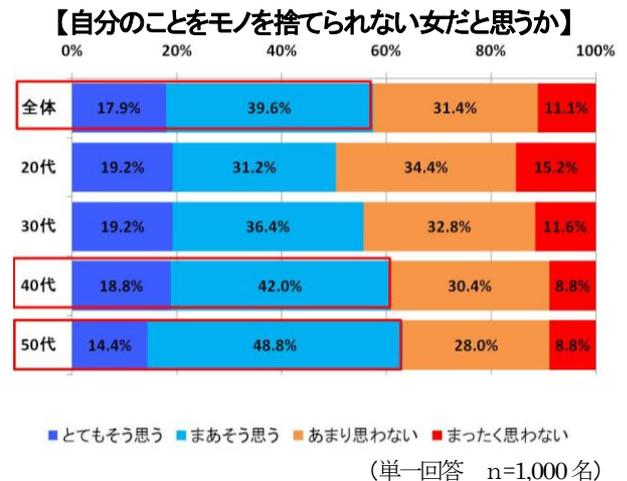
ワコールは2008年より2月12日のブラジャーの日から4月22日のアースデイの期間、不用になったブラジャーを回収し、再生燃料(RPF)に加工する活動を行っています。

#### 〈参考資料②〉「ブラジャーの捨て時・替え時のチェック方法」

ワコールが提案するブラジャーの捨て時は、ブラジャーの劣化とブラジャーがからだに合わなくなった時。

## ■私は捨てられない女・・・「約6割」

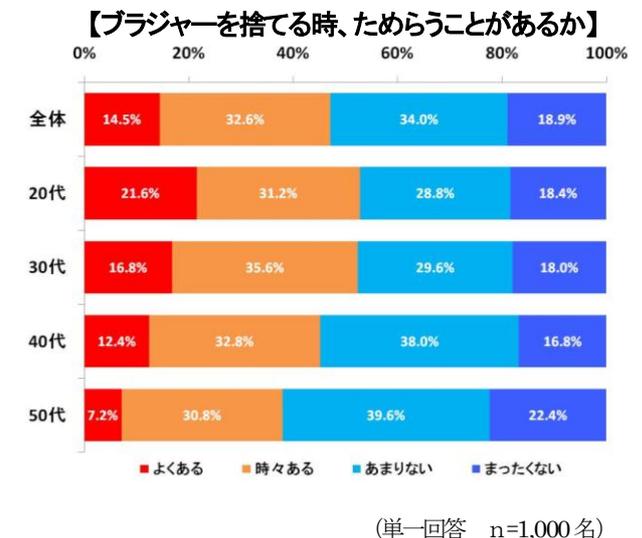
ブラジャーの捨て時を調査する際、そもそも、自分のことを「モノを捨てられない女」だと思うかどうかを聞いてみると、6割近くの女性が自分のことを「モノを捨てられない」と自己分析しており、特に40代・50代は20代・30代の女性よりも「モノを捨てられない」という意識が強いこともわかりました。また、1年間で最もモノを捨てたくなると思う時期は12月(60.1%)に次いで、3月(39.1%)、4月(21.0%)という結果も出ており、整理整頓などの意識が高まるこれからの季節ではありますが、思い切っていないモノを捨てられない女性が多いことがうかがえます。



## ■ブラジャーを捨てるのをためらう女性・・・約2人に1人

ブラジャーを捨てることにためらいを感じた(躊躇した)ことがあるかどうか、を聞いた結果、「よくある」と「時々ある」と回答した人を合わせると47.1%に。女性の約2人に1人は、ブラジャーを捨てることにためらいを感じた経験があることがわかりました。

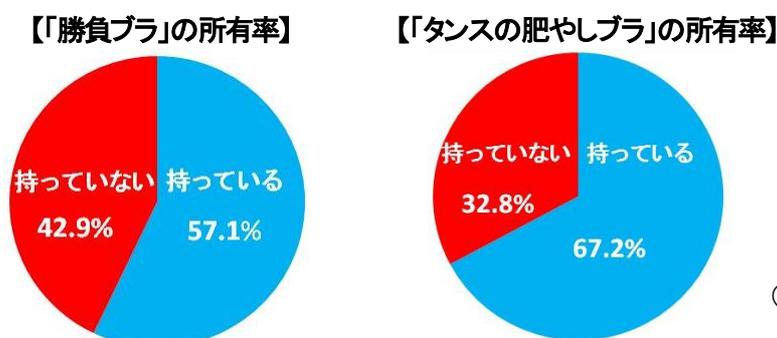
年齢別には、20代・30代の女性の過半数がブラジャーを捨てる際に「ためらうことがある」と回答し、特に20代は5人に1人以上がブラジャーを捨てることをためらうことが「よくある」と回答しています。



## ■タンスの中を拝見～「勝負ブラ」VS使っていない「タンスの肥やしブラ」～

女性の中にはブラジャーを特別な日に使用するもの、毎日使うもの、というように使い分けをしている人もいます。タンスの中のブラジャーで、お気に入りの「勝負ブラ」と、使わないで入れっぱなしにしている「タンスの肥やしブラ」、それぞれの所有率を調べてみました。すると、お気に入りの「勝負ブラ」を持っている人は57.1%と6割弱に対し、使っていない「タンスの肥やしブラ」は67.2%と、「勝負ブラ」よりも持っている人が多いことが明らかになりました。

また、23年もの間、同じブラジャーを使い続けている、という人がいることもアンケート結果からわかっています。ブラジャーは使用するたびに劣化したり、また体型も変化していくため、一生ものとして使えるわけではありませんが、女性のタンス事情を調べてみると様々なブラジャーの使われ方が見えてきます。



## ■ブラジャーが捨てにくい理由のトップ3は、「もったいない」、「見られるのではと不安」、「捨て時がわからない」

約2人に1人が捨てるのをためらうブラジャーの捨てにくい理由を聞いてみると、「もったいないと感じる」(57.3%)や、下着ならではの理由ともいえる「他人に見られるのではと不安を感じる」(38.9%)という理由のほか、「捨て時がわからない」との理由も30.8%あり、捨て時に悩む方が約3人に1人いることがわかりました。特に20代・30代の女性は「捨て時がわからない」という意見が多く、20代で37.9%、30代で38.9%と「見られるのではと不安」よりも多い傾向にあります。

では、女性たちは実際にどのようにブラジャーを捨ているのかを自由回答で聞いたところ、「紙袋などに入れて中身が見えない状態にして捨ている」、「はさみで切り刻んで捨ている」というように、各々が工夫してブラジャーだとわからないようにして捨ている人が多いこともわかりました。

【ブラジャーを捨てるのにとまどう理由】

	捨て時がわからない	もったいないと感じる	他人に見られるのではと不安を感じる	捨て方がわからない	その他
全体	30.8%	57.3%	38.9%	8.7%	2.8%
20代	37.9%	65.2%	36.4%	13.6%	2.3%
30代	38.9%	54.2%	35.9%	7.6%	2.3%
40代	21.2%	49.6%	46.9%	6.2%	4.4%
50代	21.1%	60.0%	36.8%	6.3%	2.1%

対象：20代～50代の女性1,000名のうち、ブラジャーを捨てるのをためらうと回答した471名（複数回答）

### ＜参考資料①＞ブラジャーのリサイクル方法について

#### ブラジャーを再生燃料にリサイクルする「2013 ワコール ブラ・リサイクル」

株式会社ワコールは、お客様にご愛用いただき不用になったブラジャーを回収し、再生燃料（RPF）に加工してリサイクルする「ブラ・リサイクル」を2008年より毎年、2月12日「ブラジャーの日」から4月22日の「アースデイ」まで実施しています。回収したブラジャーの入った袋は一切開封せず、袋ごと粉碎してRPFに加工しますので、人の目に触れる心配もありません。

今回の調査でも約2人に1人の女性が「ブラジャーを捨てる際にためらうことがある」と回答し、7割近くの女性が使っていない「タンスの肥やしブラ」を持っていることがわかりました。このような、使っていないブラジャーや、古くなったり、からだに合わなくなったブラジャーは「ブラ・リサイクル」を活用いただくことで、「捨てにくい」気持ちに代え、環境への配慮を両立することが可能です。

#### ◆「2013 ワコール ブラ・リサイクルキャンペーン」概要



- ① 「古くなったブラ」「合わなくなったブラ」がないか自宅のタンスからチェック。  
※対象はメーカーの制約なく、すべてのブラジャーが対象です。
- ② 「ワコール ブラ・リサイクル」のサイト内で実施店舗をご案内していますので、お近くの店舗で「ブラ・リサイクルバッグ」を受け取って頂き、不要なブラジャーを入れます。※1袋で約6枚入りです。
- ③ 実施店舗のスタッフに「ブラ・リサイクルバッグ」を渡してください。オリジナル刺しゅう切手をプレゼントします。  
※「ブラ・リサイクルバッグ」の中は人目に触れないように厳重に保管し、また、リサイクルのどの工程でも開封されることはありません。

- ④ 回収したバッグは開封せず、その日のうちに契約している処理工場に運ばれます。その後、環境にやさしい再生燃料「RPF」に加工します。
- ⑤ ブラからつくられた「RPF」は製紙会社などの製造工場へ送られ、石炭などに代わる燃料として使用されます。

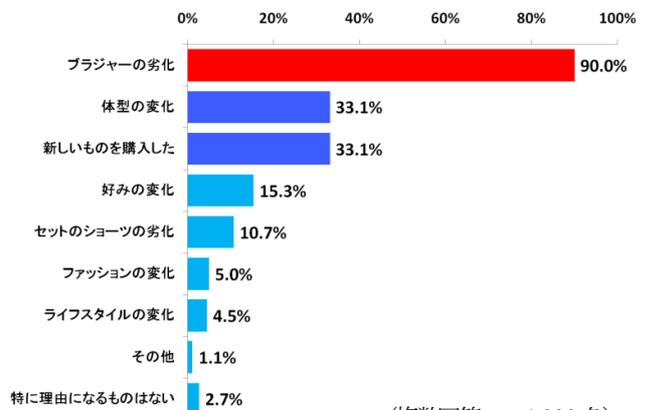
※RPF=Refuse Paper & Plastic Fuel (Refuse=廃棄物、Fuel=燃料)  
RPFは主に古紙と廃プラスチック（繊維くずなどを含む）から作られる固形燃料で、石炭や石油などの化石燃料の代替として使用されています。燃焼効率が高く、石炭に比べCO2排出量が30%少ないことから「環境にやさしい再生資源」として注目されています。

## ■ブラジャーを捨てる理由のトップ3は 「ブラジャーの劣化」、「体型の変化」、「新しいものを購入」

約3人に1人がブラジャーの「捨て時がわからない」と答える中、どんな時にブラジャーを捨てるのか、その理由を聞いてみたところ、「ブラジャーの劣化」が90.0%と最も多く、次に「体型の変化」「新しいものを購入した」がそれぞれ33.1%でした。

ワイヤーや生地、肩ひもの変形などブラジャーそのものが劣化した時、そしてブラジャーを着ける体型が変化した時、タンスに新入りブラが入ってきた時が、ブラジャーの捨て時という実態がわかりました。

【ブラジャーを捨てる理由になるもの】



(複数回答 n=1,000名)

### ＜参考資料②＞ブラジャーの捨て時・替え時のチェック方法

ブラジャーを捨てる理由として挙げた「ブラジャーそのものの劣化」と「体型の変化」。具体的にどのような状態のことなのでしょう？ワコールでは、「ブラジャーの捨て時のチェック項目」と「からだに合っていないブラジャーの状態」を下記のように提案しています。

#### ★ブラジャーの捨て時のチェック項目

下記の項目のうち、ひとつでも該当するものがあつた場合、それは、ブラジャーの捨て時です。



#### ★からだに合っていないブラジャーとは？

下記の項目のうち、ひとつでも該当するものがあつた場合、ブラジャーのサイズが合っていないか、年齢とともにバストのかたちややわらかさが変化している可能性があります。

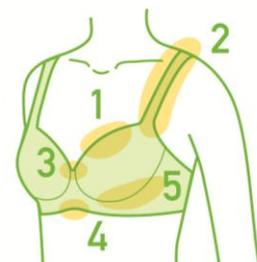
こんな風になっていたら、そのブラは、からだに合っていません。

最初にチェック!

止まっているときだけでなく、動いてみたときのブラの状態を忘れずにチェックしましょう。



- Check 1** カップの上辺 浮いたり、くいこんだりする
- Check 2** ストラップ ずれたり、くいこんだりする
- Check 3** 前中心 浮いてしまう
- Check 4** アンダーバスト くるしかったり、ずれ上がつったりする
- Check 5** バージスライン(バストの底辺) ワイヤーがくいこんだり、あたったりする



＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

株式会社ワコール 総合企画室 広報・宣伝部

(東京) TEL 03-3239-1117 FAX 03-3239-1118

(京都) TEL 075-682-1006 FAX 075-682-1103